

第 7 回全員協議会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 8 年 8 月 7 日（金曜） 午前 9 時 30 分 開会		
	休 憩 9:46-9:46 10:01-10:09		
	午前 10 時 11 分 閉会		
会 議 場 所	役場 3 階委員会室		
出 席 議 員 氏 名	議 長 梶澤 幸治	議 員 渡辺洋一郎	議 員 伊藤 稔
	議 員 鈴木 健充	議 員 堀切 忠	議 員 菊池 秀明
	議 員 西尾 一則	議 員 中田智恵子	
	議 員 常通 直人	議 員 橋本 和仁	
	議 員 中村 和宏	議 員 小笠原 等	
	議 員 立川 美穂	議 員 木村 淳彦	
欠 席 議 員 氏 名	議 員 正村紀美子		
	議 員 早苗 豊		
説 明 等 に 出 席 し た 者 の 氏 名			
事務局職員	事務局長 石田 哲	総務係長 竹川 恭史	総務係主査 大石真澄
『会議に付した事件と会議結果など』			
1 開 会 議長が開会を告げ、正村紀美子議員及び早苗豊議員の欠席を報告し、事務局が日程を説明し協議する。 2 議 件 （1）協議事項 ア 議会費補正予算案（9月定例会議）について 資料 1 ・総務係長：資料説明 ・議 長：意見・質疑はないか？ ・（意見・質疑なし） ・議 長：説明のとおり、全議員の共通認識として決定することに異議はないか？ ・（異議なし） ・議 長：決定する。以上で協議事項「ア」を終了する。 イ 令和 7 年度議会費決算について 資料 2 ・総務係長：資料説明 ・議 長：意見・質疑はないか？ ・（意見・質疑なし） ・議 長：説明のとおり、全議員の共通認識として決定することに異議はないか？ ・（異議なし）			

- ・議 長：決定する。以上で協議事項「イ」を終了する。

ウ 議会報告と町民との意見交換会総括案について 資料 3

- ・渡辺議員：資料説明
- ・議 長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議 長：説明のとおり、全議員の共通認識として決定することに異議はないか？
- ・（異議なし）
- ・議 長：決定する。以上で協議事項「ウ」を終了する。

エ 議員の学校（５時間目）実施要領案について 資料 4

- ・渡辺議員：資料説明（要点説明）
- ・議 長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議 長：説明のとおり、全議員の共通認識として決定することに異議はないか？
- ・（異議なし）
- ・議 長：決定する。以上で協議事項「エ」を終了する。

オ 2026 マニフェスト大賞のエントリーについて 資料 5

- ・渡辺議員：資料説明
 - ・議 長：意見・質疑はないか？
 - ・（意見・質疑なし）
 - ・議 長：説明のとおり、全議員の共通認識として決定することに異議はないか？
 - ・（異議なし）
 - ・議 長：決定する。以上で協議事項「オ」を終了する。
-
- ・議 長：お諮りする。協議事項として「芽室町議会活性化計画の取組について」を当日追加としたい。異議はないか？
 - ・（異議なし）
 - ・委員長：決定する。議案をクラウドに保存するので、少しの時間休憩とする。
 - ・（休憩）
 - ・委員長：休憩を取り消し会議を再開する。

カ 芽室町議会活性化計画の取組について 当日追加資料 1-1～1-3

- ・渡辺議員：資料説明（「１：趣旨」「２：基本的な考え方」「３：決算審査に向けた取組」「４：次年度への引継ぎ」「５：実施スケジュール」）
- ・議 長：資料1-3について意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議 長：資料1-1及び1-2について意見・質疑はないか？
- ・常通議員：課題の抽出に当たっては、令和７年度予算や関係資料から決算に関する

課題を抽出するのか。それとも、町の施策全般から各議員が考える課題を抽出するのか。参考とする資料を伺う。

- ・渡辺議員：現時点では成果説明資料が示されていないため、前年度の予算関係書類、実行計画調書、委員会で取り組んできた抽出事業の進捗、自らの一般質問で取り上げた事項などを参考に、課題を抽出していただきたい。
- ・橋本議員：提出期限が8月18日までであり、期間が短い。非常にタイトな日程ではないか。
- ・渡辺議員：自主研修強化期間は休暇ではなく、各議員が自主的な研修に充てるため、委員会等を設定しない期間である。9月第1週から決算審査が始まるため、それまでに各議員の課題を整理し、議会として重点的に審査すべき事項の論点を整理する必要がある。
- ・議長：今回は決算資料が示される前の抽出となるため、日頃から感じている課題や、この1年間の事務事業を振り返り、議会・委員会として重点的に審査すべき事項を整理していただきたい。
- ・常通議員：今回の政策サイクルに取り組むメリット、デメリットをどのように考えているか。また、予算決算特別委員会との関係をどのように整理しているのか。
- ・渡辺議員：決算審査で把握した課題を議員間で整理し、次年度の予算審査につなげることが最大の目的である。また、同じ課題意識を持つ議員が連携することで、限られた質疑回数を活用し、より効率的に事業の成果や課題を確認できる。今回は議員研修として実施するが、今後は予算決算特別委員会とも協議し、適切な会議体や実施方法を検討する。
- ・西尾議員：決算審査は、決算額や成果説明資料が示されてから課題を抽出する方がよいのではないか。資料がそろわない段階で課題を整理することは難しいと感じる。
- ・立川議員：実際の決算額も重要であるが、手元には実行計画調書やマネジメントシートがあり、日頃の委員会調査を通して事務事業の進捗も一定程度把握できる。具体的な数字を議論するのではなく、決算審査に向けて仮説や問いを立て、確認すべき事項を整理する機会として活用すればよい。数字だけでなく、政策の成果について過去の経緯を踏まえて検証する場とすべきである。
- ・議長：説明のとおり、全議員の共通認識として決定することに異議はないか？
- ・（異議なし）
- ・議長：決定する。以上で協議事項「カ」を終了する。

3 その他

- ・議長：「その他」で各議員からないか？
- ・（なし）
- ・議長：事務局からないか？
- ・（なし）
- ・議長：以上で会議を終了する。

傍聴者数	一般者	2名	報道関係者	0名	合 計	2名
記載のとおり報告する。 令和8年8月7日 芽室町議会議長 梶 澤 幸 治						